

「日本 EDA ベンチャー連絡会」設立趣意書

私たちは、日本の EDA の発展を目的として、最新技術情報の交換および共有、技術者間の人的交流および連携の模索、ベンチャー支援等に関わることを企画し、2006 年 1 月、日本 EDA ベンチャー連絡会（略称:JEVeC）を設立いたします。

日本の電子工業は、セットメーカー、電子部品メーカー、材料メーカー、装置メーカー、デザインハウスから構成され、いずれもその技術や製品においてグローバルな競争力を有し、これらの総合力が日本の力の源泉の一つとなっております。その中において、これらの製品開発の重要要素である製品企画および設計において、競争力に直結する不可欠の役割を担う EDA は、その多くを米国製品に依存し、日本の EDA は産業として電子工業の中で相対的に弱小な存在であります。

また、電子デバイスの機能規模拡大に伴う検証や、ソフトウェア協調設計における諸難題、低消費電力とハイスピード双方への高い要求、微細化の進展と歩留まり向上、開発期間の短縮等、開発者の抱える課題は増大する一方であります。こうした課題は EDA と歩調を合わせて实际的に解決していくことが極めて有効であるものの、残念ながら現在はこうした EDA が日本国内にバランスよく育っていないのが実状となっております。

他方、電子デバイス業界の内部で活躍していた優秀な EDA 技術者や大学の先生方が多数 EDA ベンチャーを創業するなど、新しい流れも生まれつつあり、技術内容も上流設計から DFM まで大きく広がっております。米国大手企業の寡占の中で、個別技術要素に強い日本の EDA が成長していくためには、この流れを更に大きなものにしていくことが望まれますが、幸い、国レベルでは半導体業界を始めとして、電子工業全体の発展のために様々な施策が打たれております。EDA もこうした施策の輪の中に積極的に参入し、日本の電子工業のピラミッドの中に定位置を占めるべく、その実力を大きく高めていく必要があります。

その実現のため、日本で EDA 開発に携わっている私たちが、お互いを知り合い、切磋琢磨し、互いの強みを活かした連携を模索し、単独では成し難い成長を目指して知恵を絞り合い協力する場として、本会を設立いたします。本会では、下記の活動を通し、日本において EDA 開発を行なっているベンチャー企業・部門会員相互の交流だけではなく、官公庁や大学、あるいは海外の EDA 関連研究機関、さらには顧客内部の EDA 関連技術者やユーザーとも交流を深め、日本電子工業全体の発展に大きく貢献することを目指します。

【主な活動予定内容】

1. 企業や大学研究機関における EDA 関連情報の整備およびネットワーク作り
2. EDA 関連事業の起業支援
3. 共同開発、共同受託、事業協力、技術提携の支援
4. 特許等知的所有権の相互利用の斡旋
5. 産学連携の強化：共同研究開発、新卒採用協力
6. 行政との情報交換窓口
7. 会報発行

2006 年 1 月 23 日

日本 EDA ベンチャー連絡会